



2017年度 第1四半期決算

補足資料

連結決算概要

金額：百万円

	2017年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	対前年同期	
			増減	増減率
売上高	82,946	76,766	+6,179	+8.0%
営業利益	3,000	2,684	+315	+11.7%
経常利益	2,791	2,153	+637	+29.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,105	1,475	+630	+42.8%

連結セグメント業績

金額：億円

	2017年度 第1四半期		2016年度 第1四半期		増減率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
油脂・油糧 および加工食品	546	12	536	12	+2.0%	△3.5%
加工油脂	230	15	183	11	+25.5%	+34.8%
ファインケミカル	44	2	42	3	+3.7%	△23.7%
その他・調整	8	△0	5	△1	+52.5%	—
連結計	829	30	767	26	+8.0%	+11.7%
海外売上高の割合	21.4%		18.3%		+3.1%	

営業利益の増減要因（実績）

2016年度第1四半期
営業利益 27.0億円

+ 3.0億円

2017年度第1四半期
営業利益 30.0億円

油脂・油糧および加工食品

△0.5

販売数量の増加

+ 5.0

付加価値カテゴリー、中食・外食向けの拡販など

△2.5

単価の変動（販売、原価）

原料相場の変動影響など

△2.0

販管費・その他

販売数量増加に伴う物流費等の増加

△1.0

子会社利益の増減

加工油脂
+ 4.0

国内加工油脂

+ 1.5

チョコレート油脂等の拡販、大東カカオおよびT&Cも好調に推移

海外加工油脂

+ 2.5

欧州向け付加価値型パーム製品の拡販

ファインケミカル

△1.0

欧州の厳しい販売環境を受けたIQL社の販売減少など

その他・調整

+ 0.5

営業利益増減の補足

金額：億円

油脂・油糧および加工食品

販売数量の増加 +5.0億 単価の変動 △2.5億 (販売△7.5億+原価+5.0億)

	販売数量の増加	単価の変動(販売)	単価の変動 (原価)	原料調達		ミール販売	合計
				C&F	為替		
業務用、加工用	+3.0	△6.0	大豆	△10.5	+1.5	+9.5	+0.5
ホームユース	+2.0	△1.5	菜種	△6.0	+2.5	+0.5	△3.0
ウェルネス食品	+0.0	+0.0	その他商品・製造費他				+7.5
合計	+5.0	△7.5	合計	△16.5	+4.0	+10.0	+5.0

※ +はコストの減少

加工油脂

国内	加工油脂製品 (マーガリン、ショートニング、 チョコレート用油脂 他)	+0.5	+1.5
	チョコレート製品	+0.5	
	製菓原料等 (調製品)	+0.5	
海外	パーム加工品	+2.5	+2.5
合計			+4.0

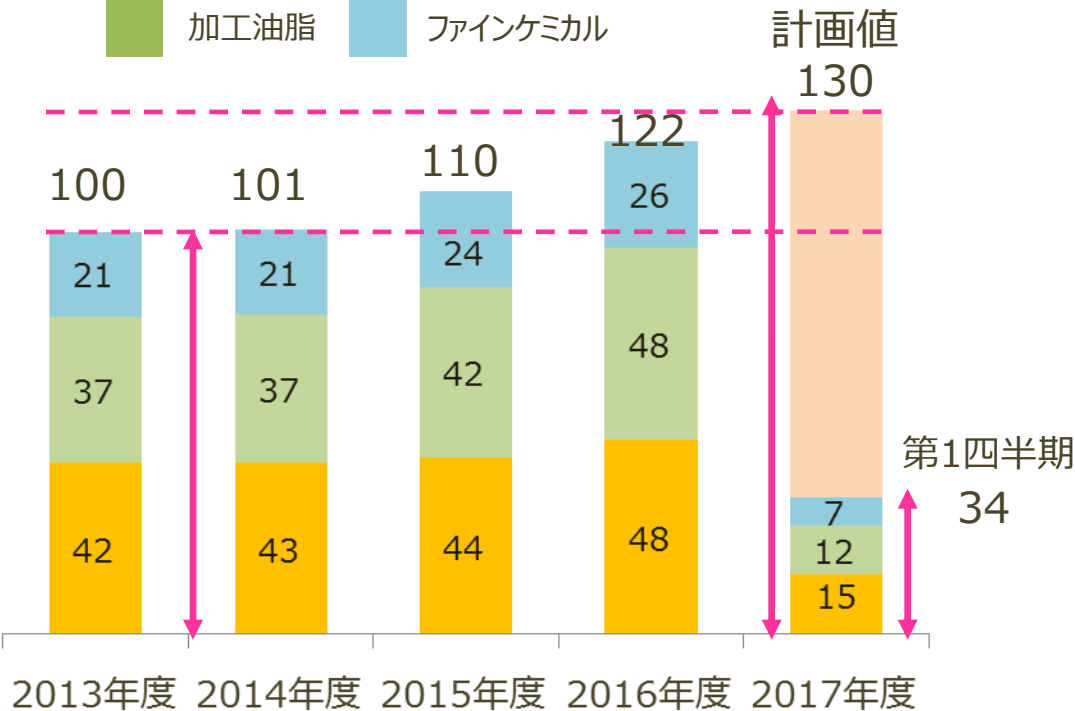
ファインケミカル

化粧品原料	△0.5
化成品	△0.0
食品・化学品その他	△0.5
連結調整 (のれん)	+0.0
合計	△1.0

付加価値カテゴリーの利益状況

付加価値カテゴリーの利益推移

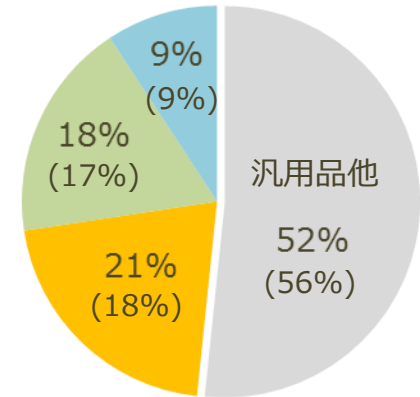
2013年度を100とした過年度実績と当年度計画値



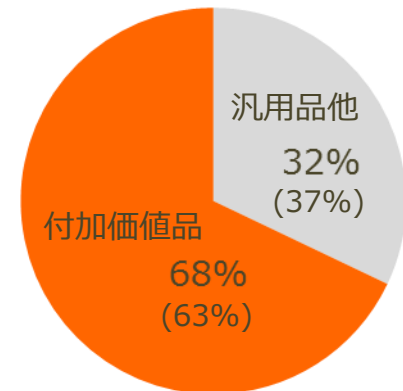
2017年度第1四半期

※()内は前年同期

連結利益に占める付加価値品の割合



ホームユースの利益に占める付加価値品の割合

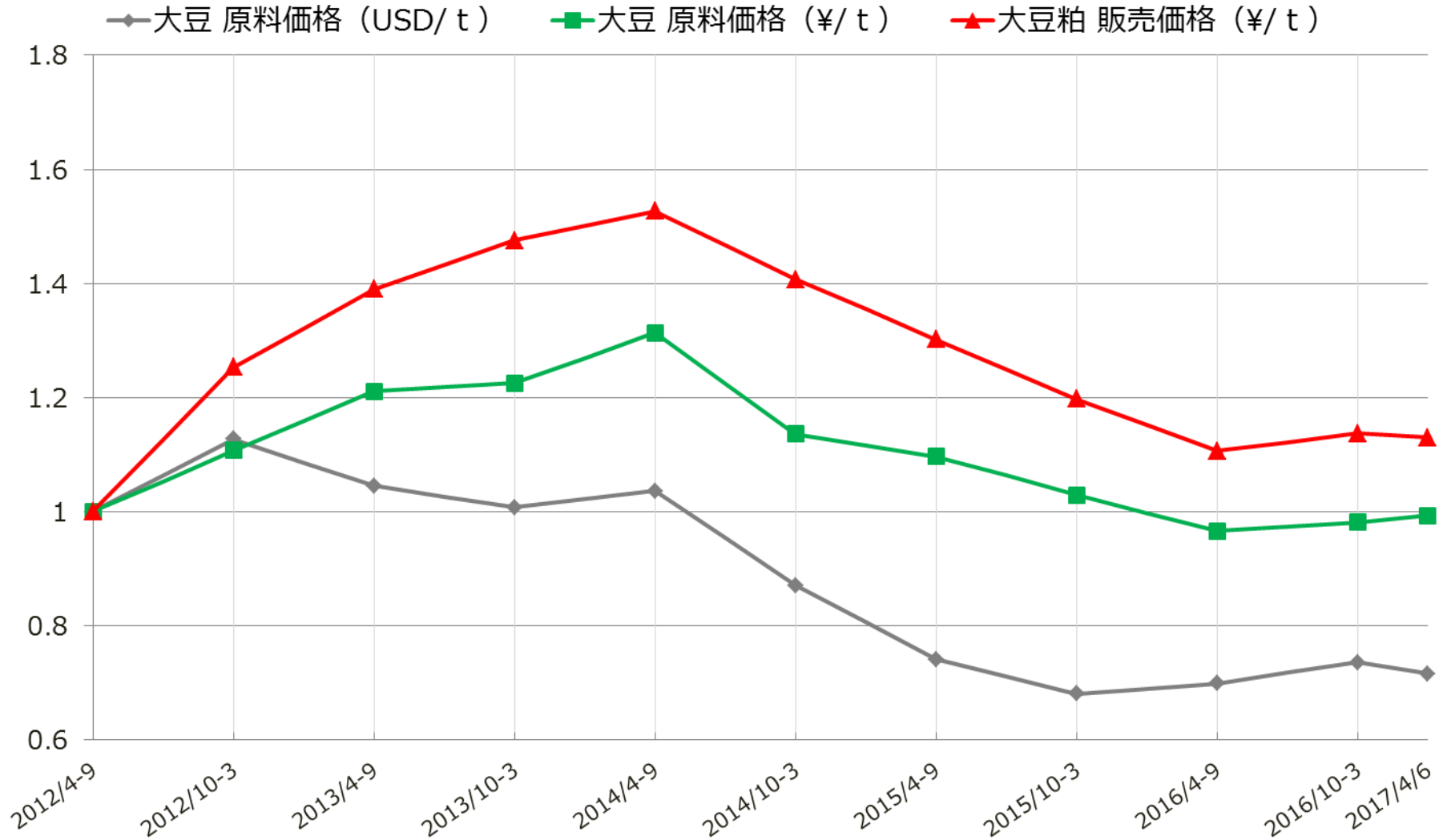


※利益は、売上総利益から直課経費等を差し引いた社内管理利益である売上利益



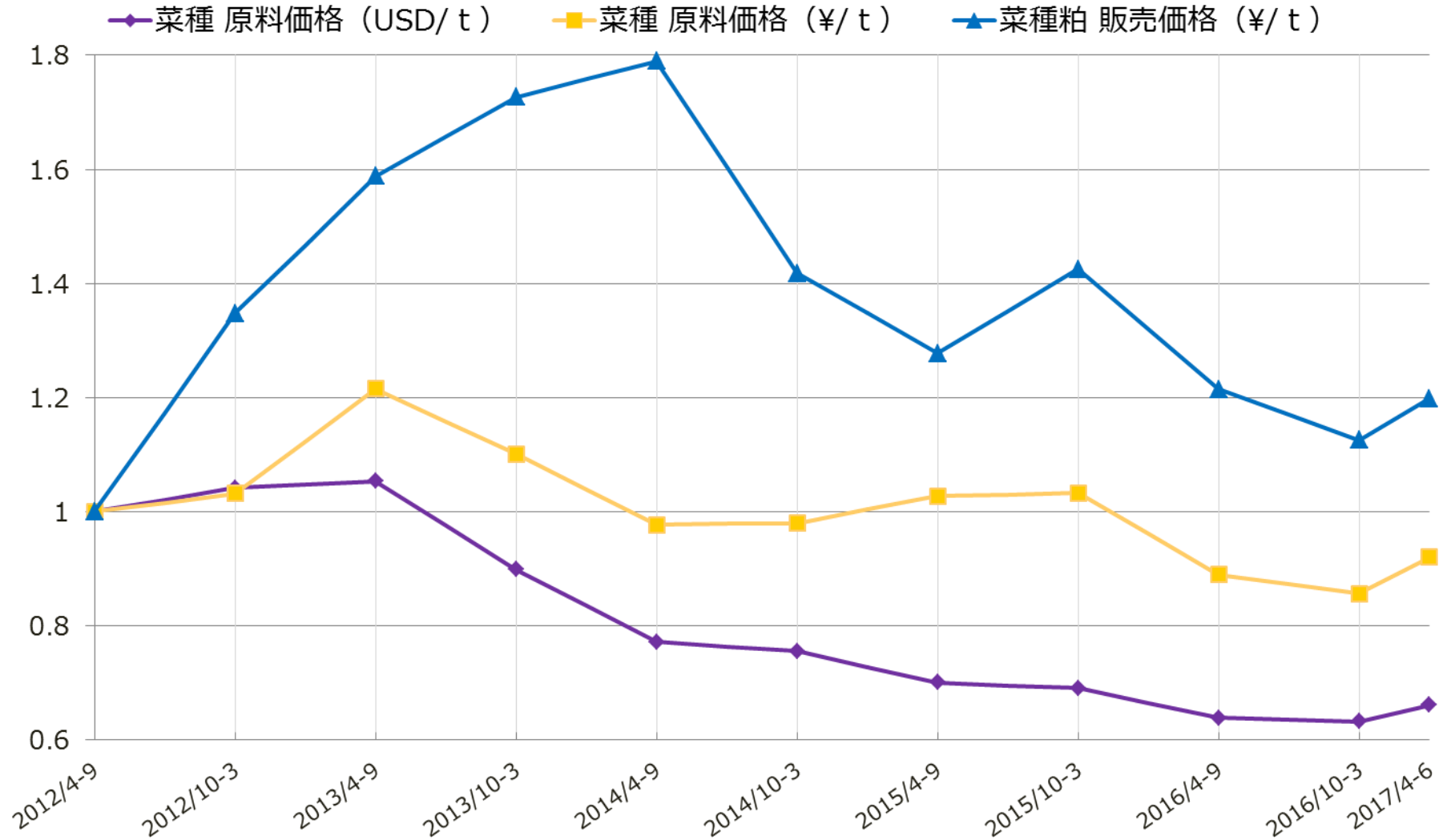
【 参考資料 】

原料・油粕価格推移 大豆



※日清オイリオグループ(株)の数値

原料・油粕価格推移 菜種



※日清オイリオグループ(株)の数値